

令和4年度第2回蟹江町総合教育会議 議事録

開催日時	令和5年2月9日(木) 午前9時～10時
場 所	中央公民館 第3会議室
出席者等	町長 部 局：横江町長、政策推進室長、政策推進課長、同課主事 教育委員会：服部教育長、森田教育長職務代理者、山田委員、佐藤委員、太田委員、教育部次長兼教育課長、同課主幹、同課主任
報 告 者	政策推進室政策推進課
傍 聴 者	なし

○開会

1 あいさつ

(町長)

改めましてみなさんおはようございます。今日は令和4年度の第2回目の総合教育会議ということで、お忙しい中お集まりいただきまして感謝申し上げます。また過日の沖縄研修視察、本当にお疲れ様でございました。1泊2日という非常にタイトなスケジュールに加え、飛行機も遅れたと聞いておまして申し訳ございませんでした。沖縄の現状をご覧いただきました。来年度も子どもたちが沖縄に行く予算を組ませていただいておりますので、またご協力いただければありがたいと思っております。

毎日、総務省、国土交通省、厚生労働省の動向をホームページで確認しておりますが、政府がマスクを外すタイミングをいつにするか課題にあげるようであります。我々は5月8日だと思っております。広島で行われるサミット、先進国首脳会議に合わせてマスクを外すという意見が政府の中ででているそうです。また2類から5類にしてワクチン接種をインフルエンザのようにするのは変わらないようであります。これを法的助成で行うかということは審議されるようであります。いずれにいたしましてもマスク着用の基準が緩くなるのではないかとということ、それは卒業式、入学式含めて適用されるのではないかと話です。また今後の様々な行事についても、5月8日をターニングポイントにどうなるかが決められるようでありますので、教育委員会を通じてご連絡させていただきたいと思っております。よろしく申し上げます。今日は多くの議題がありますが、いずれも重要な議題でございますので、慎重審議をよろしくお願い申し上げ、冒頭のご挨拶とさせていただきます。よろしく願いいたします。

(教育長)

改めましておはようございます。お忙しいところ第2回の総合教育会議にご出席いただきましてありがとうございます。先ほど沖縄研修視察の話題が出ておりましたが、中学生が見ているものを実際に見ていただいて、どのような平和教育を推進しているかがおわかりいただけたのではないかと思います。今後も続けていく事業ですのでご協力をお願いできたらと思っております。令和5年度に向けての予算関係のことも含め、町全体を見渡していただきながら、学校に対する講師のところでは何か動いていただければありがたいかなと思っておりますのでよろしく願いいたします。

2 報告事項

(1) 成人式の配布物について

(事務局)

先日、蟹江中央公民館で、旧成人式、はたちの集いが開催されました。3年ぶりに蟹江中学校区、蟹江北中学校区の合同で行われた式典に二十歳を迎えた275名が参加しました。毎年式典において、役場の各課から資料を新成人の方にお配りさせていただき、さまざまな分野で啓発をさせていただいております。政策推進課からも愛知県が発行しています「愛知に住みたくなるBOOK」を今年も配布させていただきました。こちらは、愛知県への移住促進について紹介した冊子になります。特に在学中の方の中には、愛知県外に出ている方も大勢いらっしゃいます。はたちの集いの際は帰郷しますので、就職の際にはまた地元に戻ってきてほしいという思いを込めて、配布させていただきました。またDV防止啓発カードも合わせて配布させていただきました。蟹江町男女共同参画プランの策定において、住民アンケート調査を行いました。そのときにDV相談窓口認知度が5割以下という低い数字でしたので、今回恋人や配偶者からのDVを防止する目的で相談窓口の周知ということで配布させていただきました。ご参考までに皆さんにも資料をお配りさせていただきましたので、後ほどお目通しいただければと思います。

(太田委員)

はたちの集いで蟹江町独自の移住に関するものは配布しましたか。

(事務局)

蟹江町独自のものは作っている最中です。来月には刷り上がると思いますのでそちらをお配りするかをまた検討していきたいと思います。

(山田委員)

両校で参加人数が275名ということですが実際には何割ぐらいの方が出席されましたか。

(事務局)

7割から8割ぐらいです。

(山田委員)

毎年それぐらいですか。

(事務局)

それぐらいです。

(2) 姉妹都市交流事業について

(事務局)

姉妹都市交流事業について2点報告させていただきます。今年度の事業と来年度の事業をお伝えします。まず後でビデオを見ていただくためにも来年度のほうから先に説明させていただきます。来年度はマリオン市使節団が蟹江町へ来町されます。今回は初めてマリオン市のアブシャー市長が来られるという大変嬉しいニュースをいただいています。これまでの友好的な姉妹都市関係を続けて来られた証かなと思っております。ただ大人と子どもの人数は調整中ですので、子どもの人数が決まりましたら学校と調整しながら受け入れ態勢を準備していきたいと思います。子どもたちには学校生活を体験してもらい、給食を食べてもらえたらと思っています。また蟹江の歴史文化、須成祭ミュージアムでユネスコ無形文化遺産に登録された須成祭なども知ってもらい、そんな機会を設けられればと思っています。来年度の姉妹都市交流事業と合わせて、今年度はマリオン市の子どもたちを受け入れるにあたって、蟹江町に来てもらう機運を高めていただけたらと思ひまして、蟹江中学校と蟹江北中学校の2年生に協力してもらって学校生活の様子や町内の施設や観光スポットといったものを紹介してもらう動画の撮影の協力

をお願いしました。まだ完成ではないのですが、それぞれの学校から出てきた紹介動画をここで少しご覧いただけたらと思いますので正面のスクリーンをご覧ください。

(動画再生)

こういった動画をマリオン市の子どもたちにビデオレターとして送ることで、蟹江町にホームステイに来る具体的なイメージを持ってもらえたらと思ひまして、今年度取り組んだところであります。今年度中にはマリオン市にお送りし、受け入れの準備に備えたいと思ひています。以上となります。

(太田委員)

これは生徒さんたち主体で作られたのですか。

(事務局)

こちらからはマリオン市との交流の目的等をお伝えしましただ。蟹江町の魅力を伝えるスポットと学校生活、この2つをテーマにそれぞれ動画を作ってください、とお願ひしておいます。

(太田委員)

先ほども話がありましたが、校正など、誰かがチェックはしないのですか。

(事務局)

今回は学校の先生等にご協力いただき、最初に蟹江町の趣旨、目的をお話させていただいて、その中でシナリオや撮影コンテンツを学校へお任せしたところます。

(太田委員)

動画の内容に少し間違いがあります。

(事務局)

間違いは多少あると思ひます。

(太田委員)

間違っただまま出すということですか。

(事務局)

撮り直しは難しいですが英語の字幕のところは先生のほうに協力してもらって校正はしてもらっています。

(太田委員)

間違っただままでいいのですか。

(事務局)

もう1回撮り直すのは難しいので編集で対応したいと思ひています。

(町長)

マリオン市長アブシャーさんと一度もお会いしたことがありません。平成19年にロバート・バトラー市長に最初にお会いしてから子どもたちが延べ96人ホームステイしています。その後亡くなられてアンソニー市長が就任されたときにベンチの交換をしています。向こうに赤い椅子を設置し、こちらには青い椅子を設置しています。こちらからはかに丸くんの椅子を寄贈しています。そのような交流がありましたがコロナ禍で対面交流が中止しています。その内に選挙でアブシャーさんという方が市長に就任されました。そのアブシャーさんがお見えになると連絡をもらい、できればアイシン精機の工場見学をしたいとのことでした。私の知っているアイシンの皆さんや交流事業のスタート当時のアイシンの常務さんにお力添えをいただきました。その方を辿って連絡がつき、ウェルカムで対応していただけるとのことますので、ある程度満足していただける対応ができればと思ひます。市長と奥さんが見えるようます。

その他の子どもたちやスタッフについてはまだ詳しいことはわかりませんが、中学生がビデオを作って送ることによって準備ができ、なおかつ何人来るかということは送り終わってから連絡がくるのではないかと思います。湯元館で3日間泊られます。腰が痛くなるのも極力避けたいといけないので布団を3枚重ねてくれるとのこと。天然温泉に入ったら熱いからびっくりすると思います。準備はしますがハプニングはあると思います。まだわからないところがいっぱいありますのでよろしくをお願いします。

(太田委員)

生徒さんも決まっていないですか。

(事務局)

はい、こちらは公費でくるわけではなく、寄付を募って来られるということで、こちらから打診があったのは最初5から6名ぐらいで考えていますということで、これから募集をかけるということでした。

(森田教育長職務代理者)

こちらの受け入れサイド、ホームステイ先も協力してくれる中学生のご家庭があるといいですが、なかなかそういうところも難しいのではないのでしょうか。

(事務局)

今まで派遣した生徒数は100名弱ですが、派遣時に、来るときは受入れをお願いします、というお願いをして募集をしていますので、まずはそのご家族のところにホームステイの受け入れができますかという照会をかけさせていただきたいと思っています。

### 3 議題

#### (1) 教育委員会の主な予算・取組状況について

(教育部次長)

まず教育課から、ICT機器を活用した教育の実施ということで、学校へのICT支援員派遣を継続してまいります。そして定期的にタブレット端末を自宅へ持ち帰り、自宅学習に活用するとともに、感染症等による急な学校休業に対応するような取組を行っていきたいと思います。続きまして1つの小学校における民間事業者の施設を利用したプール指導の試験的導入、こちらは具体的に言いますと舟入小学校で、専門的な指導や維持管理費を含めた効果検証を実施しまして、他の小学校へも拡充するのかを検討します。それから学校設備の整備としまして、蟹江小学校における屋上防水改修工事を施工します。加えて蟹江小学校、蟹江中学校におけるトイレ洋式化工事の設計を委託します。

次に生涯学習課から、青少年健全育成推進事業としまして、先ほど話にありましたが、中学生沖縄県読谷村交流事業を継続します。先日教育委員のみなさんと一緒に大宜味村に行ってまいりました。大宜味村との連携も検討しながら進めていきたいと思います。続きまして、文化財保存活用地域計画の策定ということで、令和2年度から策定に取り組んでまいりました「蟹江町文化財保存活用地域計画」を来年度文化庁へ提出し、認定を受けます。文化財を適切に保存するとともに教育や生涯学習だけではなく、観光や商工業など様々な場面で文化財を活用するように取り組んでまいりたいと思います。ちなみに来月、3月4日(土)これに係るシンポジウムが行われます。

最後に図書館から、図書館の空調改修工事を行います。空調改修工事を行うことによりまして、図書館施設の長寿命化を図ってまいります。そして学校図書館システム導入が完了しましたので、自主的に読書活動が行える環境を整備したいと思います。

(町長)

議会で承認はいただいておりますが、3月議会で承認をいただく予定の提出議案の中身をお話させていただきました。多岐に渡り大変お金のかかる事業もありますし、継続事業もしっかり地に足がついた、教育に重点を置いたハード面、ソフト面の予算を組んだつもりです。この件につきましてご質問ありますでしょうか。

(森田教育長職務代理者)

舟入小学校のプールのお話ですが、以前から舟入小学校はプールの老朽化があり破損しているところがどこかわからないぐらいの状況です。民間事業者の施設を利用したプール指導を今回あげていただいております、実際舟入小学校の小規模小学校で実施し、後々他の小学校に導入するかどうかを検討すると書いてありますが、舟入小学校の特別な地形だからこそできることだと思います。全体的なことで町長にお考えをお聞きしたいのですが、学校現場の働き方改革と先生の負担を軽減するということで、部活動において新たに民間の方を入れたりという議題が、蟹江町だけでなく様々な地域で出ている現実があります。実際多忙化解消や働き方改革が当然なされないといけないことですが、中には多忙化にかかわらず生徒指導も部活もやりたいという先生もお見えになるのではないかなと思います。その中で指導してくださる先生が手を挙げてやるのであれば、当然そこには指導料や時間を拘束するのでそれに対する対価ということでお金がかかるわけですが、そういったところへの給料的な予算を町長はどうお考えですか。

(町長)

まずプールのことについては民営化に向かっていくのは必然なので、蟹江町にある5つの小学校にプールがあり、もう少し前までは災害時の貯水槽に使えるのでむやみやたらに水路を壊すのはよくないと言われていました。我々としては民間委託をしながらできるだけプールの活用は各校一緒になって進めましょうという動きになっていくと思います。小規模的な舟入小学校でまず試験的に実施していく話は以前からありましたので、これをスタートし、業者と話を進めていきたいです。

先生の部活動の指導については、なかなか地方自治体の町長部局で言い表せない部分、お金のこともそうですし、スクールサポーターやALT等、町の予算でできることはいいのですが先生自体の働き方については教育課から話をさせていただいたらいいと思いますので、教育長に変わります。

(教育長)

地域の部活の民間移行についてはスポーツ庁が令和7年度を目途としており、努力目標になっていきます。現実問題、日本全国の自治体から早急にゴールを決められても困ると意見があります。森田教育長職務代理がおっしゃられたように、教員の中にも部活を指導したいから先生になった、それを目標に先生になったという方もお見えになります。今勤めている学校でそのまま指導していくのか、兼職兼業がありますのでそれをするのか、あるいはこの地区でいうと10年経つと転勤をしないといけませんが、勤めている場所ではなく自分が住んでいるところで指導をしていきたいという方もお見えになるかもしれません。それから報酬の問題が出てきたときにそれを国がある程度補填するのか、県がするのか、ボランティアであるのか、ボランティアですと保険の問題もあるのでそこも難しい問題になります。様々なことが見えない状況で踏み出してしまうのはちょっと怖いなと思っています。正直なところ海部地区の7市町村をみても教育長同士の間でも同じような感じになっています。大治町はコーディネーターが多いからこうかなという考えはあるようで、飛島村は指導者にお金を出すと考えているようですが、他のところは多くの学校を抱えています。弥富市、愛西市、あま市は統合の話聞いていますので、そ

の辺がすっきりしてこないと進められません。生涯学習課長にお願いしてあるのはスポーツ協会の代表さんに、どの競技がご援助いただけそうか、ボランティアまたは有償なのか、土日でもお願いできるものなのか、するしないは別としてお願いしたらやってもらえるものなのか、そういった意見を聞く場を3月中に設けたいと思っています。遅くとも来年度当初にそういう場を設けてご意見をいただかないと難しいかなと考えています。また、蟹江吹奏楽団というのがあり、中学生の部を作ってそこで指導させていただきませんかという話が具体的にありますし、少年野球のスポーツ少年団の指導者の方々に、大きくなって中学生になっている子どもたちに来ていいよ、教えてあげるからおいでと声をかけているところもあるので、地域で全くお願いできる状況がないわけではありません。どの競技はお願いできそうか、どの競技はだめか、ではだめだったときはその競技を指導してくれる人を探すのか、把握していかなければならないことがあります。それらがはっきりしてから町長さんにその競技がいるいない単価がどうというお話をご相談していくような形になっていくと思いますし、受益者間の問題もあります。今の中学生を見ていてもサッカーや野球等やりたい子は遠くまで習いに行つて、交通費をかけながらそこまでしてやりたい子もいます。今の中学校の子たち全員がそうではありませんし、全部をフォローできるかというそういうわけでもないと思います。スポーツ庁が言っていることは大きな目標ですが、様々な問題を含んでいるので、各自治体の教育委員会からとてもじゃないけどやれませんかという意見が大きくなり、国もやっぱりそうだなということで努力目標に変わってきたという経緯もあります。

(森田教育長職務代理者)

ありがとうございます。すべてがケースバイケースだなということで、今回初めてプールを民間事業者にお任せするというので、流れとして全ての学校がそうになってしまうのかなという危惧もありましたので質問しました。報酬等いろいろあると思いますが、ご協力よろしくお願いします。

(町長)

他にございませんか。蟹江町文化財保存活用地域計画のシンポジウム、できればご参加いただきたいと思います。文化庁に対して蟹江町文化財保存活用地域計画を提出させていただき、蟹江町の歴史文化を後世に伝えていくために、これが基になります。これがあることによってユネスコ無形文化遺産の須成祭を含めたいろいろなハード面ソフト面に光があたります。文化庁の予算をとったり、文部科学省も予算がとれたり、陳情に行つてもこの計画があればバイブルになります。例えば蟹江町の第5次総合計画もそうですが、すべての計画の準備計画にあたるものが蟹江町文化財保存活用地域計画であります。学芸員と話をしつてずっと作ってきました。私がパネラーをやることになっているようですので、蟹江町の歴史をしつかり皆さんに共有したいと思いますのでぜひとも参加をお願いしたいと思います。

(2) 町立小中学校における現状について

(教育課主幹)

令和4年度学校教育等に関する行事・事業一覧についてと生徒指導上の諸問題に関する調査結果についてお話させていただきます。

1 学校行事・町行事は9月からの中学校の体育祭・文化祭、小学校の運動会について新型コロナウイルス対策を講じながら各学校で工夫を凝らしてそれぞれの行事目標を達成できるように取り組まれました。その他の行事は各校での授業参観や小学校での学習発表会、中学校での職場体験学習など、こちらから感染対策を講じながら、例年並みに実施をできるようになってきました。来月に行われる卒業式に関しましても、コロナ禍の制限がある中ですが、児童生徒の最後の晴れ舞台となるように行われます。2 学校訪問は、前半同様、感染対策を講じながら紙面のとおり行われました。各学校の実態に応じてタ

ブレットを効果的に活用した学習や指導方法を工夫した授業を見ることができました。3 教育委員会議、4 諸会議、5 町校長（・教頭）会議については紙面のとおりで。

続いて、生徒指導上の諸問題に関する調査結果についてです。まず最初に暴力行為になります。今年度は昨年度と比べると生徒間暴力が大きく増加していることがわかります。特に小学校4 から6年生の高学年の事案、また登下校中の事案の報告が多いです。例をあげたいと思います。まず小学校で12月に起きたものです。通学団で下校中に同じ通学団の小5女子2名が話している内容を小5男子が自分の悪口を言われたと勘違いして女子のお腹を叩くということがありました。続いて中学校で5月に起きたことです。中3男子が体育祭のダンスを教えてほしいと友人2名に依頼したところ、真剣にやっていないということを理由に拒否をされました。話し合いを求めましたが、受け入れられず疎外感を感じこの2名の顔を殴るということが起きました。いずれにしても軽症で病院へ行ったり保護者に連絡をしたりということでそれぞれの教員が指導しています。現場に対して少しのことでも報告をしていただき、子どもたちに寄り添った指導を行っていくようお願いをしております。大きな事案はみられないと話しましたが、怪我の状況をみて医療機関への対応が必要な時は保護者に連絡を取るなどして、学校現場で適切な生徒指導が行われるようお願いしております。

続いていじめの発生件数です。小学校でのいじめの内容としては悪口や暴言を言われたり、仲の良い間柄でからかいや悪ふざけで嫌な思いをしたりという事例が多くみられました。また新型コロナウイルスの影響もあり、マスクの着脱に関するトラブルも増えているように思います。中学校ではSNS絡みでのいじめの発生が目立ちました。自分のスマートフォンを使用して、本人の知らないところであだ名や悪口を書き込むというものです。学校から帰った後の事案のため、本人だけでなく家庭に協力を得るという必要性があり、そういった場面が増えているかなと思います。いずれも周囲の児童生徒や保護者から丁寧に聞き取りを行うことによって関係者の指導ができております。学校には事案の大小関わらずいじめを積極的に認知し、丁寧な対応を心掛け、経過をしっかりと見守っていくようお願いしています。いじめの例をあげさせていただきます。小学校で5月に起きたことです。小6男子児童が、休み時間中に他児童のボールペンを勝手に使い壊しました。その後そのまま筆箱に戻しました。ボールペンの持ち主の児童が、ボールペンが壊れているのを見つけ担任に報告、周りが見ていたことにより事案が発覚し、担任が放課後に指導を行うことができました。続いて中学校で6月に起きたことです。1年生女子生徒がSNS上で嫌なあだ名で呼ばれて困っている様子があるとその保護者から電話で学校に相談がありました。担任が女子生徒に確認したところ、あだ名を付けていたのは同じく1年生男子生徒4名と判明しました。その後4名とも事案を認めて女子生徒に謝罪をしたということです。

最後に不登校についてです。不登校児童生徒数は、全国的に増加傾向にあります。昨年度の全国の調査では、小学生では1.3%、中学生では5%が不登校になっている統計が出ています。蟹江町でも例外ではなく、小中学校ともに不登校の発生件数が過去最高になっているかと思えます。蟹江町においては非行傾向における不登校は少ないです。これは日頃の先生方の児童生徒との関わりにおいて丁寧な対応ができていた表れであると考えています。逆に多くなっているのが、精神的な問題を抱えている不登校になります。例えば理由は無気力、対人に関しての恐怖感を抱いていたり、また家庭が登校に対して協力的でなかったり形態は様々かなと思っています。いずれにしても本人への指導だけでなく保護者や関係諸機関と協力して改善を進めていく必要があります。今後も油断をせずに児童生徒に寄り添った指導となりますように先生方をお願いをしていきたいと思っております。

(町長)

学校教育等に関する行事・事業並びに、生徒指導上の諸問題に関する調査結果ということで今説明をいただきました。この件に関しまして何か質問がございましたらお受けいたします。大きな問題はありませんが、不登校の発生数は気になります。メンタル的なことが多いというのは小中学生だけでなく役場の職員もあるのでコロナと関係しているという可能性もあります。あとはSNS問題、これからついて回ることですからしっかり子どもたちに教えていくのと、タブレットをこれから使っていきますので使い方をちょっと間違えますと誹謗中傷の温床になってしまうとずっと前から言われていましたので、そのところ教育をしっかりやっていただきたいと思います。

(3) その他

特にありません

(4) 意見交換

(町長)

1月14日、愛知県市町村対抗駅伝競争大会がモリコロパークで行われました。町村の部で3位ということで非常にレベルの高い争いでした。ただ来年もありますので1位、2位目指して頑張ってくださいのと、教育委員の皆様にはいろいろな意味でお力添えいただければ有難いと思います。

(教育部次長)

追加で新型コロナウイルス感染症陽性者の1月末現在の状況です。小学校が約4割、中学校は4割弱の方が感染しています。中には複数回罹患した方もいます。また直近ですと須西小学校6年2組が先週3日間学級閉鎖でした。このような状況ですのご承知おきください。

(森田教育長職務代理者)

先日教育委員のメンバーで沖縄視察に行っていました。長年蟹江町に続けていただいている沖縄派遣ですが、改めて平和教育の大事さと沖縄と交流を深めることの大事さというのは私自身感じたこととございます。何分当然派遣になればお金もかかることとなりますので、町の負担も大変ではございますがこの事業は続けていくべきだなと、平和教育の大切さは子どもたちにも必要なことだと重々わかりましたので今後とも予算付けのほうよろしく願います。

(町長)

日本政府、特に岸田内閣ですが、高齢者対策をないがしろにするのではなく、急に子どもに関する政策や少子化対策に舵を切りました。我々が不安なのは児童手当の額を変えることです。そうするとシステムを変えないといけません。基本的には高齢者対策をないがしろにするのではなく、少子化対策に対して相当お金をかけていくことだと思います。合計特殊出生率が1.26%ぐらいの全国平均で、蟹江町は1.4%ぐらいですが、これをどうしていくかということで、どのように啓発したらよいか、できれば働き方改革で、もしかしたら公務員も早朝出勤にして15時に終わりだとか、昼からの出勤で19時に終わるとか、そういう働き方が必要なのではと、実際総務省や内閣府が考えているようです。我々地方公務員の働き方が急に変わるわけではありません。それを補足するのはAI、OCR、RPAこのようなデジタルトランスフォーメーションの時代が来るのではないのかなと思っています。とはいえペーパーレスになることはありませんし、アナログしかできない人のフォローもしっかりやらないといけないということが我々地方自治体に今課せられている大きな課題です。その中で一番上位になるのは少子



化対策、特に学校教育にはもちろん力を入れていきます。本日の課題にもなっておりますハード部分、校舎の維持管理、防水工事、特に蟹江小学校と蟹江中学校のトイレ改修が残っていますので、これだけは早急にやりたいと思っていますし、文部科学省にもくどいぐらいの陳情に行きたいと思っています。引き続き教育部次長が要望書を作ってくれますので、お力添えをいただきたいと思っています。